

第76回全日本総合バドミントン選手権大会 フクヒロペア復活優勝

12月30日、第76回全日本総合バドミントン選手権大会の決勝戦が開催され、フクヒロペアが2年ぶり4回目の優勝を果たしました。廣田彩花選手は、「去年はケガで大会に出られなかった。ここに戻ってきて、優勝できて嬉しい。これからもフクヒロらしく頑張っていきますので、応援よろしくお願いします。」と話しました。



福島選手（左）と廣田選手（右）

～中山間農業奮闘記 vol. 7～

板橋小原集落営農組合における4作目の「ホオズキ」栽培は7月中旬に収穫・出荷を終了しましたが、8月下旬には次作に向け苗づくりを開始しました。苗は完熟した実から採取した種子を使用し、セルトレイに播種後、親株（仮植）床へ移植・育苗し、今月中旬ハウスへ定植します。定植後は、日々の温度管理や水やり、追肥や防除など、前作の反省を踏まえて順調に生育するよう収穫までの約半年間きめ細かな管理が続いていきます。



親株（仮植）床の様子（12月）

町からのお知らせ

学校給食費の半額補助を行います

問 学校教育課 学校給食係 ☎0968・86・3131

現在、食料品などの価格が高騰していることを受け、和水町立小中学校に在籍する児童生徒の学校給食費を半額補助（100円未満は切り捨て）します。町から申請書を配布しますので、ご提出をお願いいたします。

対象者

和水町立小中学校に在籍する児童生徒（特別支援教育就学奨励費による手当を受けている人は4分の1（100円未満は切り捨て）。就学援助による手当を受けている人および、給食費の未納がある人は対象外です。）

提出方法 返信用封筒にて提出

提出期限 2月22日（水）まで



初の「ロボット相撲大会」を開催しました！

11月27日（土）に中央公民館において、創造力や発想力を養うことを目的とし、「ロボット相撲大会」を開催しました。今回初の取り組みとなる本大会には、7名の小学生がタブレットを使ってプログラミングした自作のロボット力士を操作し、土俵上での真剣勝負に挑みました。

ロボットのぶつかり合う音に子どもたちは大興奮でした。入賞者には、手漕ぎ和紙の賞状と賞品が授与され、心に残る体験となったようです。

また、マイクラフト（プログラミングの学習教材）体験と、今話題のメタバース（VRゴーグルを装着しての3次元仮想空間）の体験コーナーも設けられ大変な盛り上がりとなりました。

入賞者（ロボット名・氏名）

【優勝】 ナイフキラー 浦部優之介さん（三加和小3年）

【2位】 マンモスロボット 塩山 誠太さん（菊水小3年）

【3位】 ポチ 内村 心翔さん（菊水小3年）



プログラミングしたロボットを操作する子どもたち

玉名工業高校から防球ネットなどをいただきました！

12月16日（土）玉名工業高校機械科の3年生から防球ネットを4台とグラウンド均し用のレーキを1台いただきました。

生徒たちは、「地域に密着したものづくり」をテーマにした課題研究の授業で、パイプなどを加工して制作をされました。

寄贈されたものは、総合グラウンドで活用させていただきます。ありがとうございました。



私たちが作りました！

【第99回箱根駅伝】 イェゴン・ヴィンセント選手（東京国際大学）に「金栗四三杯」を授与しました

正月の風物詩として定着した東京箱根間往復大学駅伝競走（通称：箱根駅伝）は金栗四三氏が創設した大会であり、和水町では第80回大会から最優秀選手に対して「金栗四三杯」を授与しています。

第99回大会では、4区区間新記録を出した東京国際大学4年のイェゴン・ヴィンセント選手が選出され、よみうり大手町で開かれた閉会式において石原町長から「金栗四三杯」が授与されました。



イェゴン・ヴィンセント選手（左）と石原町長（右）